【第三種郵便物認可】

ロボット市場に参入した。ねじ締めや部品の仕分けなど、軽作業の自動化に適した小型機を販売した。起動時に必要な動作プログラムの入力負担を軽減できるのが特徴

業の省人化ニーズを捉え、ロボット事業の収益拡大を目指す。

製品名は「Smart Wing（スマートウイング）」＝写真、同社提供＝で、可搬重量は最大2キロ。7日から都内で開かれる展示会に出展する。価格は用途などによって異なるという。

通常、多関節

合宿教習 中国語OK

伊勢の自動車学校、閑散期

南部自動車学校（三重県伊勢市）は在留中国人をターゲットに中国語で受講できる自動車の合宿教習を始めた。実際の運転免許試験で外国語受験を認める県が増えており、教習ニーズは大きいと判断した。一般の受講生が減る閑散期に実施し、安定経営につなげる。

中国語による講習は、指導員の資格を取得した中国人男性と中国語ができる日本人女性の社員2人が担当する。中国語に翻訳したテキストを用意し、学科教習や技能教習を実施する。同校が契約する合宿所で宿泊しながら、最短16日間で卒業できる。宿泊費と1日3回の食費を含め、費用は27万円（税込み）。

合宿教習は日本人の受講生が減る5～7月（前期）と9～11月（後期）の年2回実施する。同校は「運転免許を取得したいと思いながら、言葉の壁で断念していた中国人留学生などをターゲットにしたい」という。これまで受講実績があるのは1人だが、今後、地元だけでなく愛知、奈良、大阪などでもPRを強化する。

動化ラインを提案していくほか、これまで取引のなかった食品や化粧品業

く、ソリューションを提供できるロボット企業を目指す」と話している。

同社はロボットに位置検出機能を内蔵し、作業データを調整する必要がある。

部では専用の建屋を建設する。女性社員の活躍を

中部

来月6日上場廃止

丸栄株、70年の歴史に幕

親会社の興和（名古屋市）の完全子会社となり抜本的な事業転換を目指す丸栄＝写真＝の株式が7月6日付で東京と名古屋の両証券取引所を上場廃止となることが決まった。戦後に株式市場が再開された当初から株式を公開していた老舗百貨店が約70年にわたる上場の歴史に幕を下ろす。

東京・名古屋両証券取引所は6日、東証・名証1部に上場する丸栄株を同日付で整理銘柄に指定した。7月6日に上場廃止となり、同5日が最終売買日となる。

丸栄は創業400年を超える名古屋・栄地区の老舗百貨店。名証が戦後に取引を開始した1949年5月時点の上場会社163社のうちの1社だった。61年には東証にも上場した。

丸栄は近年、主力の婦人服で苦戦が続いていた。免税店「ラオックス」など有力テナント誘致による収益回復を模索したものの、中国人客の「爆買い」一巡も逆風となり、効果は限定的だった。興和傘下で非上場企業となり、丸栄は百貨店事業からテナント事業に転換し、経営再建を図る。

興和は5月29日に丸栄株へのTOB（株式公開買い付け）を終了し、同社株の持ち株比率（議決権ベース）を95・53%まで高めた。今後残りの丸栄株も取得し、7月11日付で同社を完全子会社化する見通しだ。

☎
名古屋 052-243-3332
岐津 059-228-3362
阜 058-262-4842